



2015年3月期決算説明会

塩見岳(笹山南から)



特種東海製紙株式会社



目次

		NaSFAの進捗状況(新商品の開発)	
・ 会社概要	(p1)	・ NaSFAについて	(p21)
		・ NaSFAの利益効果	(p22)
火災事故からの復興 -逆風張帆-		・ 新ガラス合紙の開発	(p23)
・ 火災事故の概要	(p2)	・ 高級印刷紙「エアラス」の上市	(p24)
・ 仮復興の内容と火災に伴う影響額(15年3月期)	(p7)	・ エアラスの優位性	(p25)
・ 復興の内容と火災に伴う影響額(16年3月期)	(p8)	・ エアラス展示会	(p26)
		・ 商品券用紙需要の増加	(p27)
2015年3月期連結決算概要		・ TT-除染シート 実証モデル採用	(p28)
・ 期末連結業績実績	(p10)	・ フィブリックの開発状況	(p29)
・ 経常利益の増減要因	(p11)	・ 海外とオリンピックに向けて 更なるセキュリティ用紙の開発	(p30)
・ セグメント情報	(p12)	・ CNT技術の電磁波吸収シートへの応用	(p31)
・ 特別損失の内訳	(p13)	・ D' CRAFTの販売状況	(p32)
		・ 意匠性トイレットペーパー/ペーパータオルの企画	(p33)
2016年3月期連結業績見通し 及び中計に向けての展望		・ 中日特種紙 新規薄紙ファンシーの開発	(p34)
・ 2016年3月期連結業績見通し	(p14)		
・ 2016年3月期経常利益増加要因 及び中計最終年度へ向けてのアクションプラン	(p15)		
・ 第3次中計で推進する成長戦略の利益効果	(p16)		
・ (結実)赤松水力発電所による売電事業スタート	(p17)		
・ リニア工事と当社の対応	(p18)		
・ 島田工場 新バイオマスボイラーの設置	(p19)		
・ 新タオルマシン(1台目)の完成	(p20)		



会社概要

- **社名** 特種東海製紙株式会社
- **本店所在地** 静岡県島田市向島町4379番地
- **設立** 2007年4月
- **代表者** 代表取締役社長 社長執行役員 三澤清利
- **資本金** 11,485百万円
- **従業員数(連結)** 1,506名(2015年3月)
- **事業内容** 紙・パルプの製造、加工、販売
- **工場** 三島、島田、横井、岐阜



火災事故からの復興 -逆風張帆-



火災事故の概要

事故の概要

① 2014年 12月31日(水) 午前5時53分

島田工場チップサイロにて火災発生

② 2015年 1月3日(土) 午後5時32分 鎮圧

③ 2015年 1月5日(月) 午後3時00分 完全鎮火

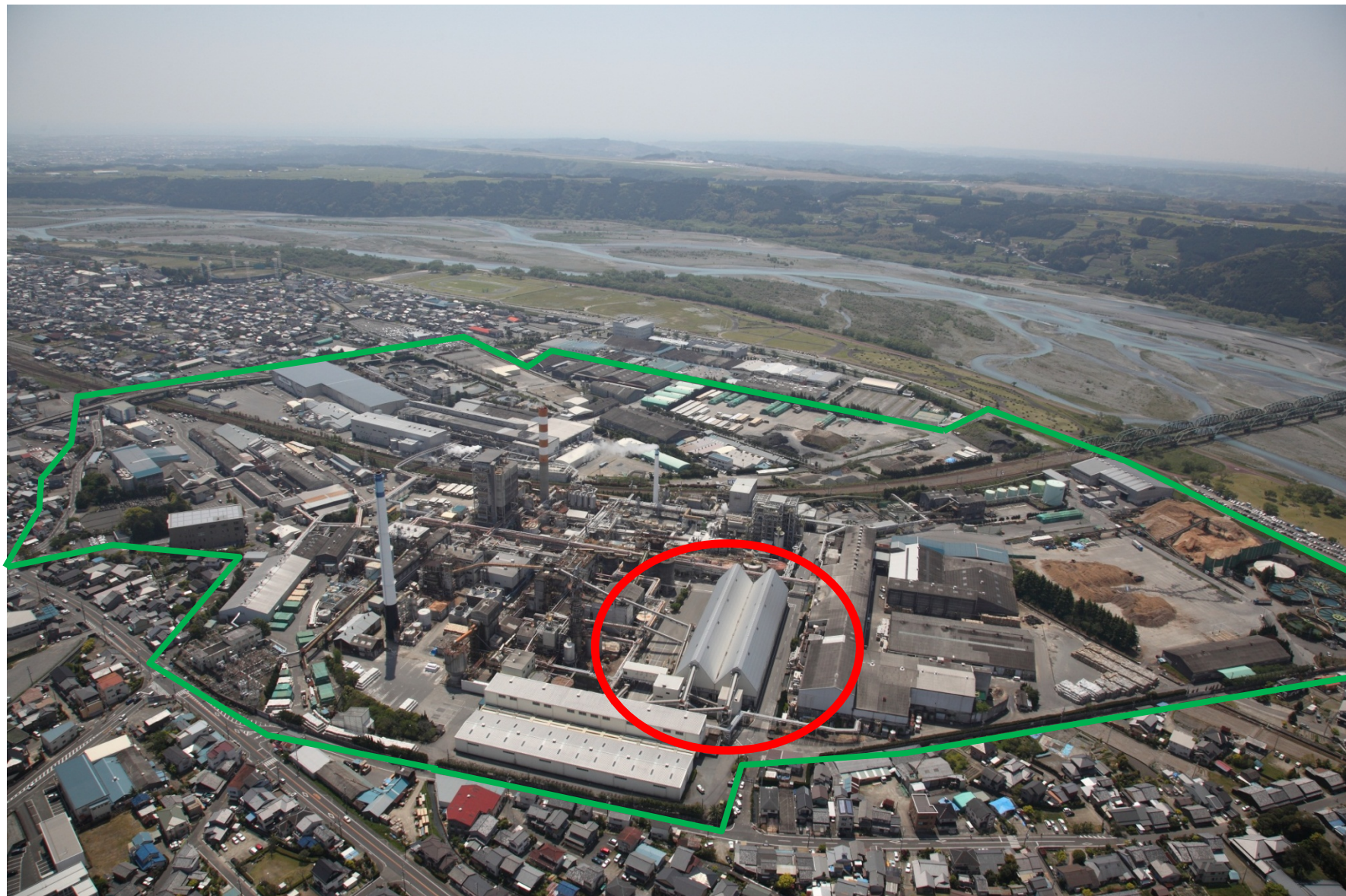
発生から129時間後

④ 人的被害はなかったが、チップサイロとサイロ内部の

木質チップ(絶乾約4,300トン)が全焼した

近隣住民の皆様、弊社製品をご愛顧いただいている皆様、株主の皆様他多数の関係者の方々に多大なご迷惑をお掛けすることとなり、深くお詫び申し上げます

チップサイロ位置図(島田工場全景)



火災発生設備(チップサイロ)



(火災発生)12月31日(水)当日の状況



1月2日(金)の状況



緊急謝罪記者会見の実施



1月5日(月) 午後3時 発生から129時間後 完全鎮火



近隣住民への説明会の開催

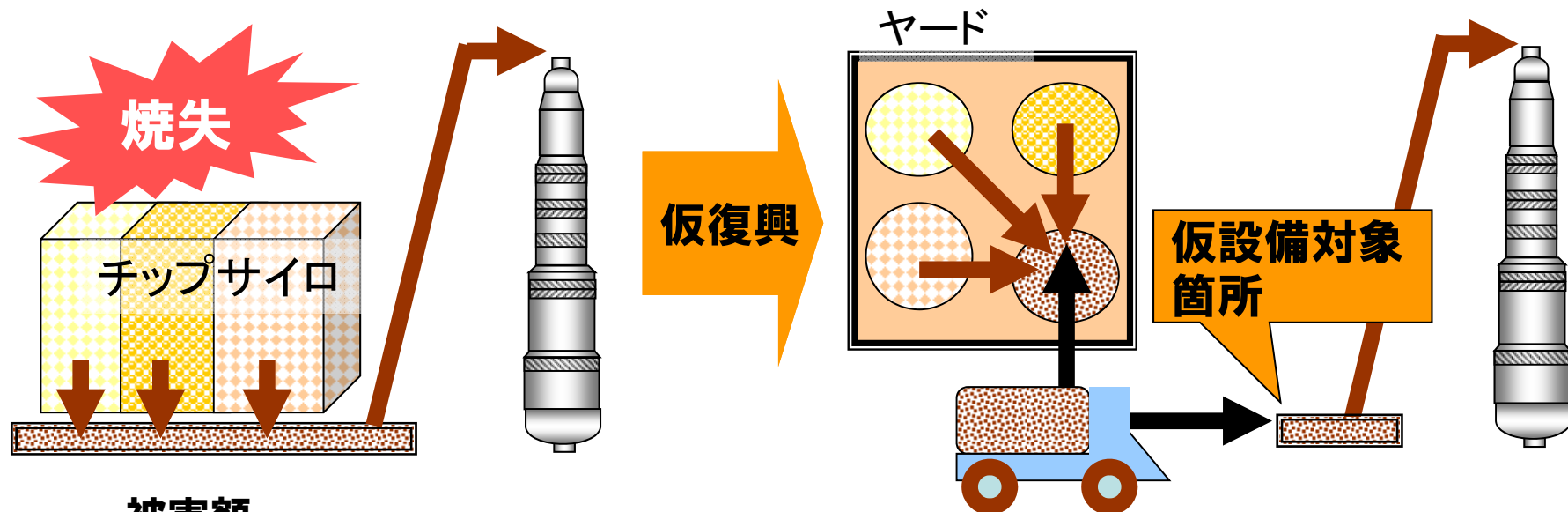


消火活動人員

(12月31日(水)～1月8日(木) 午後4時現在)

・島田市消防本部	延べ 546人	車両 延べ122台
・島田市消防団	延べ1,870人	車両 延べ191台
・特種東海製紙	延べ 577人	ポンプ車 3台
		可搬ポンプ 10台

仮復興の内容と火災に伴う影響額(2015年3月期)



被害額

➤チップ焼失簿価	71百万円
➤固定資産除却損	334
➤固定資産撤去費用	39
➤消火に要した費用等	57
➤操業低下影響額	278
➤チップ横持配合悪化	129
➤その他	125

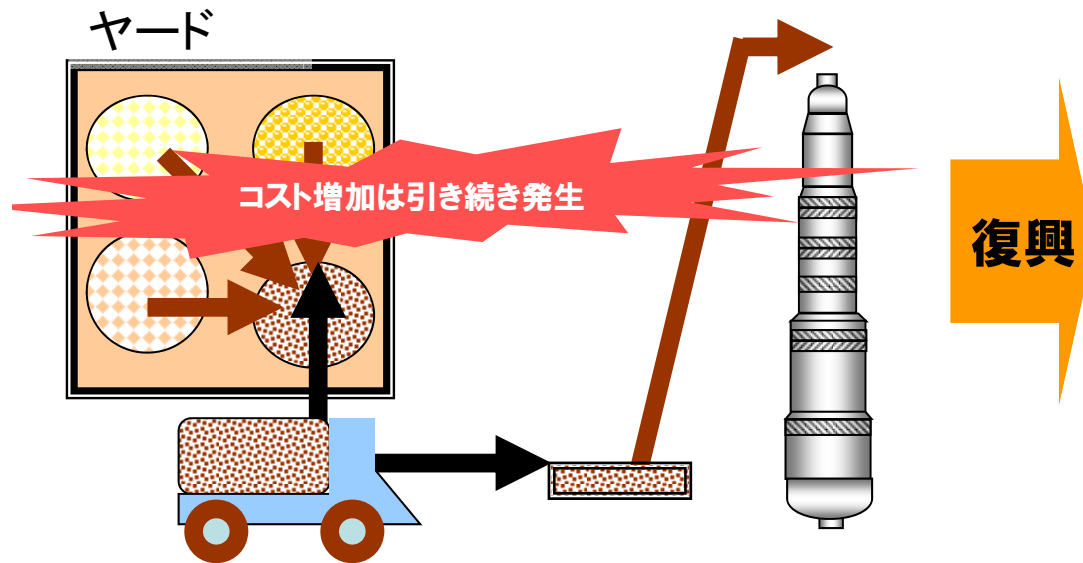
2015年3月期

特別損失「火災損失」計上額

単体 1,033百万円

連結 1,023百万円

復興の内容と火災に伴う影響額(2016年3月期)



2016年3月期における影響額見込（特別損失）

➤ 操業低下・チップ横持配合悪化影響額

4～6月	180百万円
7～10月	60
合計	240

約17億円の設備投資にて、6月末までに、ある程度安定的にチップを供給できるサイロを建設、コスト増加を大幅に減少させ、その後サイロを順次拡張させることで、10月末を目途にコスト増加をゼロとする見込み

※当社は保険を付保しておりますが現時点で保険金総額は確定していません。

**復興に向けて
チップサイロ再構築中**

現在のサイロの様子





2015年3月期 連結決算概要



期末連結業績実績

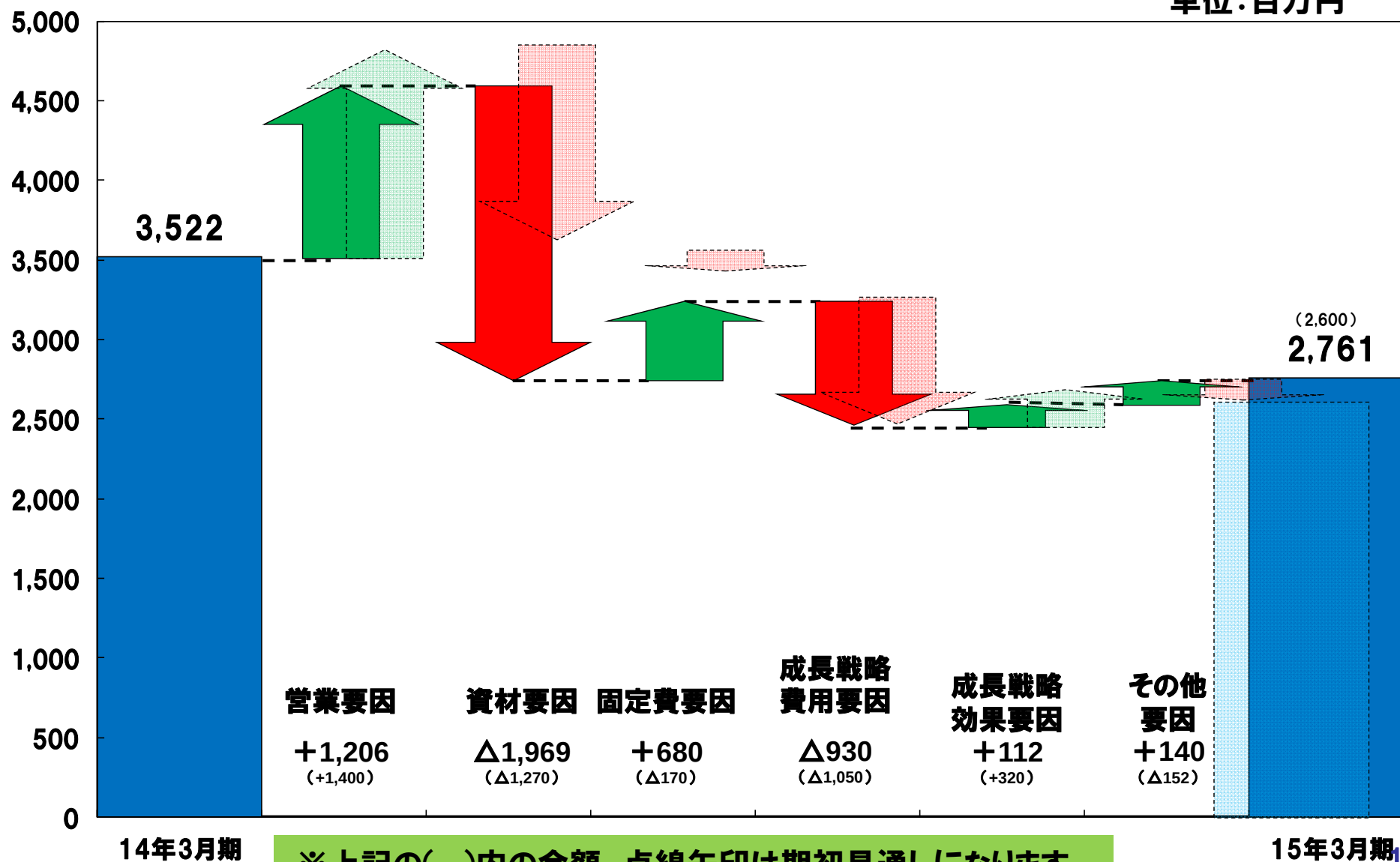
(単位:百万円)

	前年実績	当期実績	前年変化
売上高	78,159	78,843	+684
産業素材	39,755	40,280	+525
特殊素材	22,051	22,125	+74
生活商品	16,824	17,121	+297
営業利益	3,180	2,477	△703
産業素材	203	60	△143
特殊素材	2,717	2,159	△558
生活商品	379	423	+44
経常利益	3,522	2,761	△761
当期純利益	2,180	204	△1,976

注)各事業セグメントの売上高、営業利益は連結相殺消去前の数字であり、その合計額は連結売上高、連結営業利益とは一致しません。

経常利益の増減要因

単位:百万円



セグメント情報

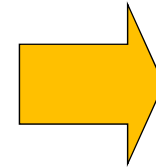
単位:百万円

		2014年3月期	2015年3月期	増減
産業素 材事業	売上高	39,755	40,280	+525
	営業利益	203	60	△143
特殊素 材事業	売上高	22,051	22,125	+74
	営業利益	2,717	2,159	△558
生活商 品事業	売上高	16,824	17,121	+297
	営業利益	379	423	+44
そ の 他	売上高	4,742	4,800	+58
	営業利益	148	173	+25
消 去	売上高	△5,214	△5,484	△270
	営業利益	△268	△339	△71
合 計	売上高	78,159	78,843	+684
	営業利益	3,180	2,477	△703

特別損失の内訳

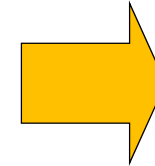
(単位:百万円)

主に島田工場の競争力を高めるため
のより一層の筋肉質化。
(赤松水力発電に伴う除却、不採算の島田特殊紙マシ
ンの減損等)



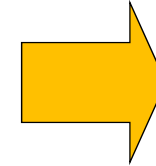
1,253

将来、処理を迫られる環境対策費用を
前倒しに引当。
(微量PCB、ペーパースラッジ処分等)



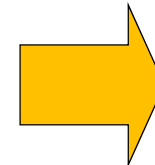
335

その他



107

火災損失



1,023

計

2,723



2016年3月期連結業績見通し 及び中計に向けての展望



2016年3月期連結業績見通し

(単位:百万円)

	前年実績	通期見通し	変化
売上高	78,843	81,000	+2,157
産業素材	40,280	42,000	+1,720
特殊素材	22,125	23,700	+1,575
生活商品	17,121	17,600	+479
営業利益	2,477	3,700	+1,223
産業素材	60	1,160	+1,100
特殊素材	2,159	2,170	+11
生活商品	423	400	△23
経常利益	2,761	3,650	+889
当期純利益	204	1,400	+1,196
営業利益+減価償却費	9,183	10,190	+1,007

前提

為替レート

上期120円/US\$

下期125円/US\$

原油価格 57\$/B

(ドバイ)

注)各事業セグメントの売上高、営業利益は連結相殺消去前の数字であり、その合計額は連結売上高、連結営業利益とは一致しません。

2016年3月期経常利益増加要因及び中計最終年度 へ向けてのアクションプラン

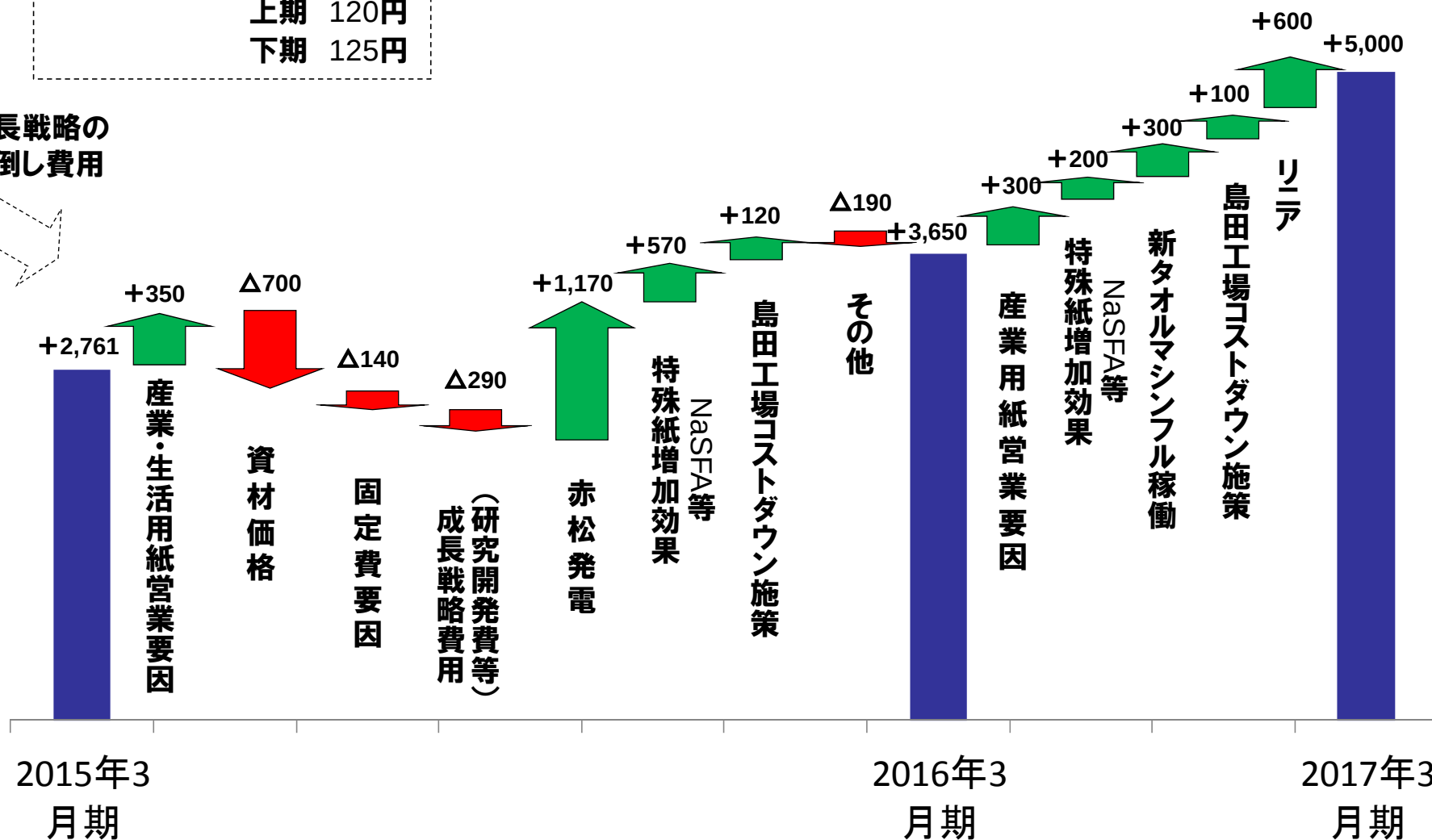
2016年3月期 為替前提

上期 120円

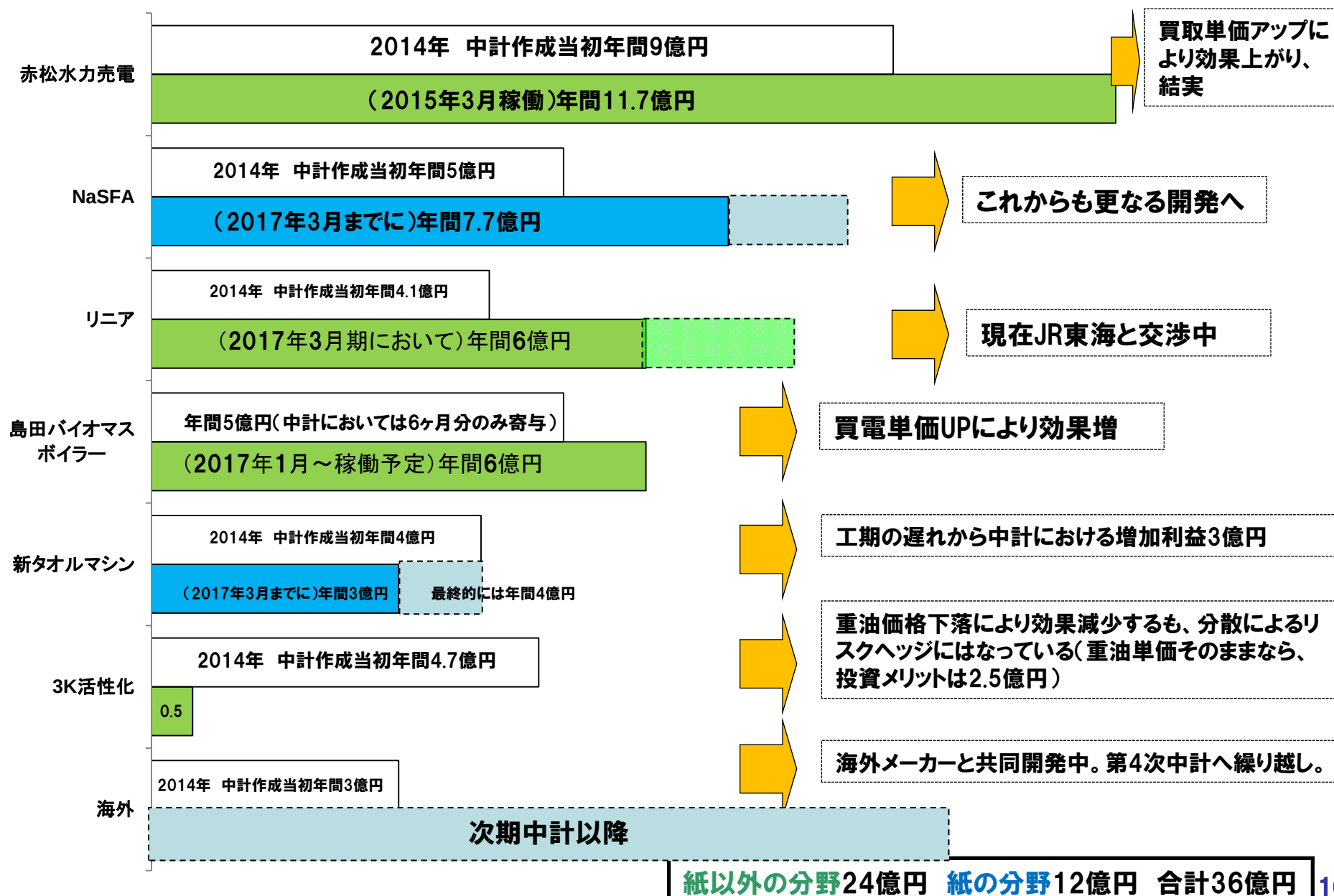
下期 125円

(単位:百万円)

成長戦略の
前倒し費用



第3次中計で推進する成長戦略の利益効果



(結実)赤松水力発電所による売電事業スタート

内容

- ・ 当社が所有する赤松水力発電所で、再生可能エネルギー固定買取制度(FIT)を利用した売電を開始。
- ・ **2015年 2月26日 運転開始**
- ・ **2015年 3月1日 FIT適用の売電開始**
- ・ 最大出力6,310kw
- ・ 年間では2015年度より約14億円の売電収入を見込む。
- ・ FIT適用期間は20年間



リニア工事で当社の対応

内 容

【JR東海の計画】

- ・リニア路線のうち静岡県を通過する区間はすべて当社社有林の地下をトンネルで通過
- ・トンネル掘削工事は社有林内2ヶ所からも行い、発生土を社有林内で処分する

【当社の対応】

自然環境の保全

地域振興への貢献

当社収益への寄与

これらを条件に
JRと交渉中



島田工場 新バイオマスボイラーの設置

内容

- ・ 購入電力量及び化石燃料の削減によるエネルギー費用の抑制、並びにCO2排出量の削減を図る。
- ・ 燃料は木質チップとRPF
- ・ EMS(エネルギーマネジメントシステム)の導入によりエネルギーバランスの自動最適化を実現。
- ・ 発電電力は島田工場内での自己消費。
- ・ 設備投資額 : 約85億円
- ・ 補助金差引投資額 : 約51億円
- ・ 効果金額(経常利益)は年間約6億円
- ・ 投資回収期間は4.3年を想定。
- ・ 原油換算量で約22,000kl/年(省エネルギー率34%)の省エネ効果。

スケジュール

- ・ 2015年6月 着工
- ・ 2017年1月 完成、運転開始



バイオマスボイラー

※写真は既存の島田工場バイオマスボイラーになります。

新タオルマシン(1台目)の完成



- 2014年6月 建屋工事完了
- 2014年10月 1号抄紙機完成
- 2015年2月 営業運転開始
- 2016年3月 2号抄紙機完成
- 設備投資額:約44億円(2台合計)



NaSFAの進捗状況

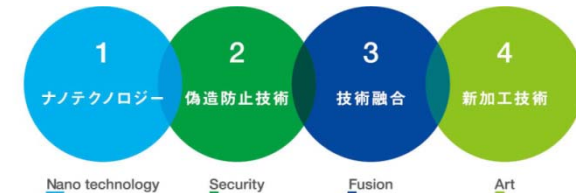
（新商品の開発）



NaSFAについて

NaSFAとは

当社の商品開発に係る技術力を4つに分類したもの。
それぞれ以下の意味を表す。



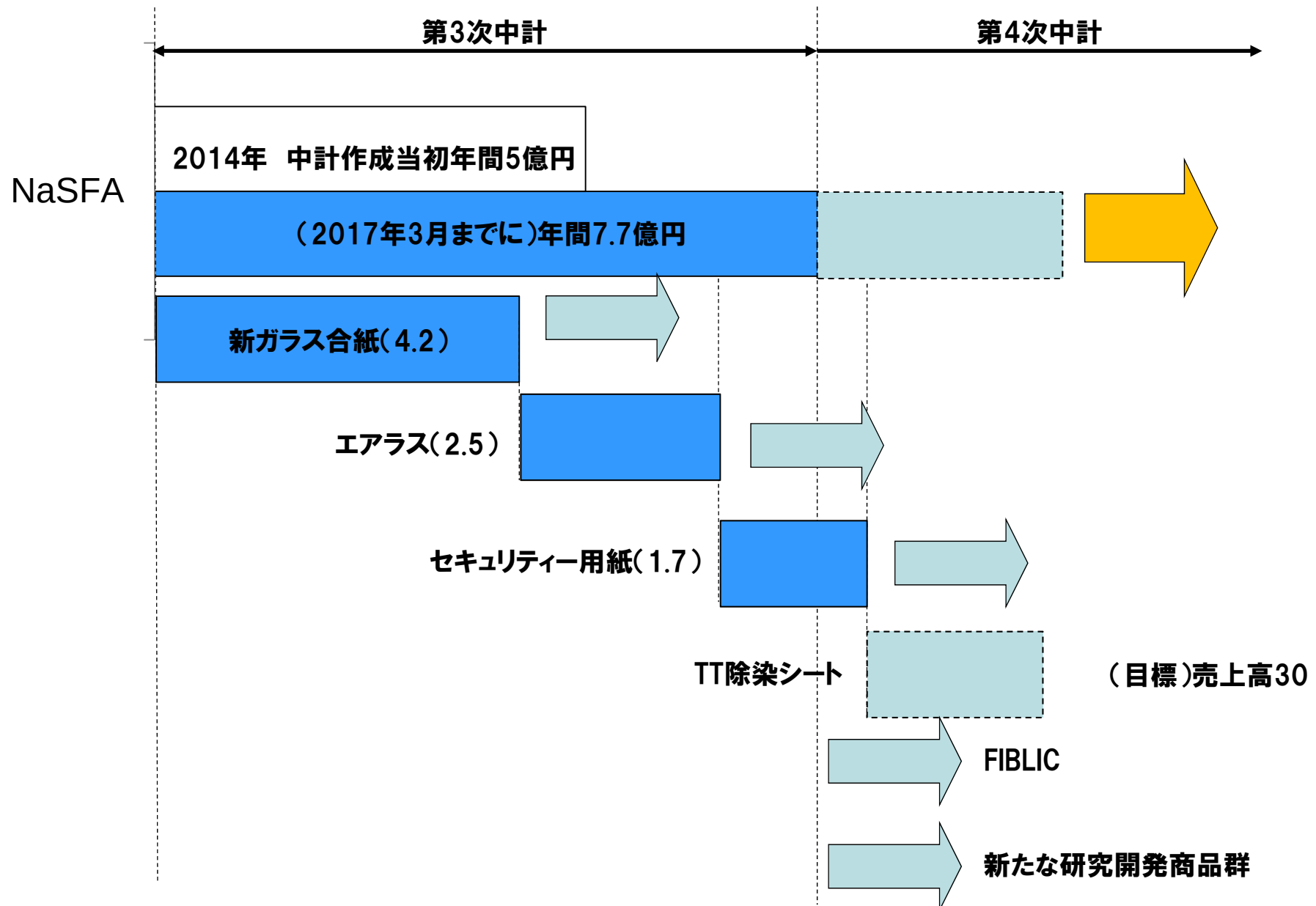
① Na : Nano technology (ナノテクノロジーから広がる新たな可能性)
⇒紙の領域を超えたシート状物の開発

② S : Security (偽造防止技術によるグローバル展開)
⇒黒すかし技術、最新スレッド挿入技術等を用いた製品を投入
⇒2020年東京オリンピックでの採用に向けた新規要素技術の開発

③ F : Fusion (技術融合による新市場の創造)
⇒各事業部、関連会社の強みとなる差別化された技術を融合

④ A : Art (新規加工技術による挑戦)
⇒新加工技術による新たな機能付与とコストの削減

NaSFAの利益効果



新ガラス合紙の開発

NaSFA



- ・ 現在、世界のフラットパネルディスプレイ用ガラス合紙の70%以上のシェアを誇る。
- ・ 当社は無色透明な目に見えない微小な異物(50~500 μm 0.0125個/ m^2)さえも取り除く技術確立した。
- ・ 13件の特許を出願済み
- ・ 今後も更に異物混入量を少なくし、品質の向上、シェア維持のみならず他社の参入障壁を高めていく。

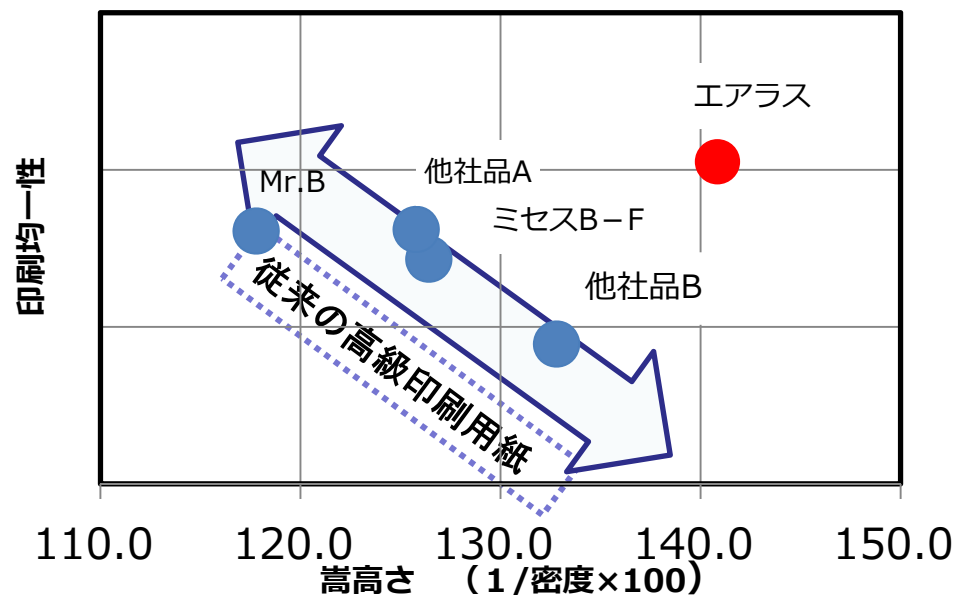


高級印刷紙「エアラス」の上市

NaSFA

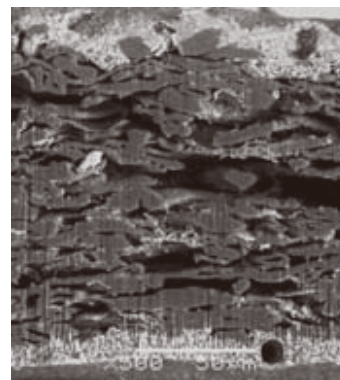
内容

- 三島工場に導入した最新の加工機（DFコーター）により製造
- 紙に空間を作りながら、フワッと載せるような塗工技術によって「嵩高」と「緻密な美しさ」を同時に実現した。
- 2015年2月2日 上市

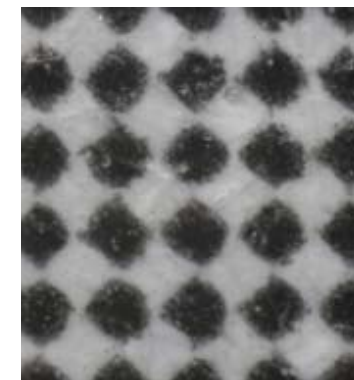


今後の展開

- 2017年度 売上高820百万円、限界利益280百万円を見込む。



断面拡大図

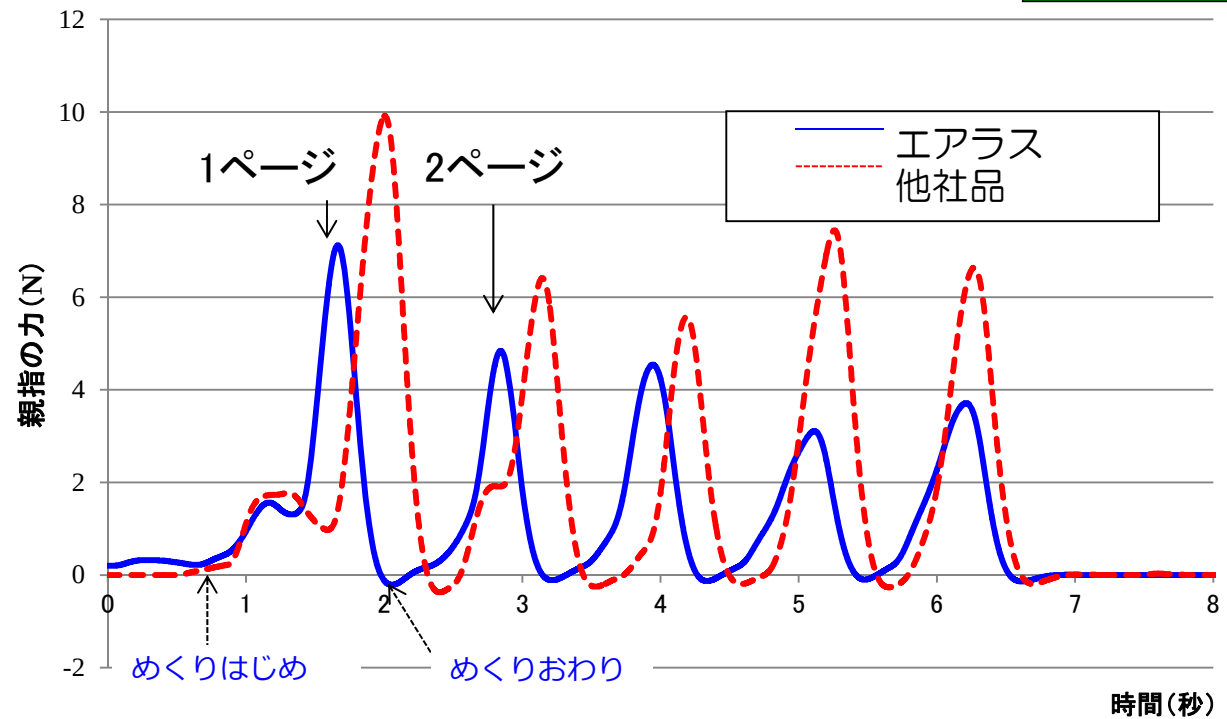


網点拡大図

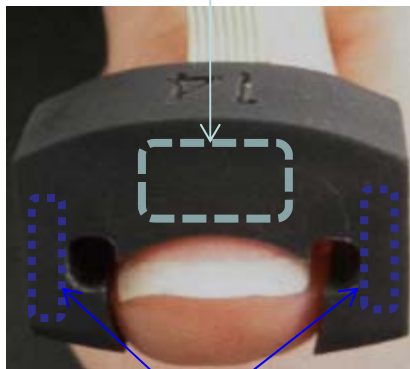
エアラスの優位性

NaSFA

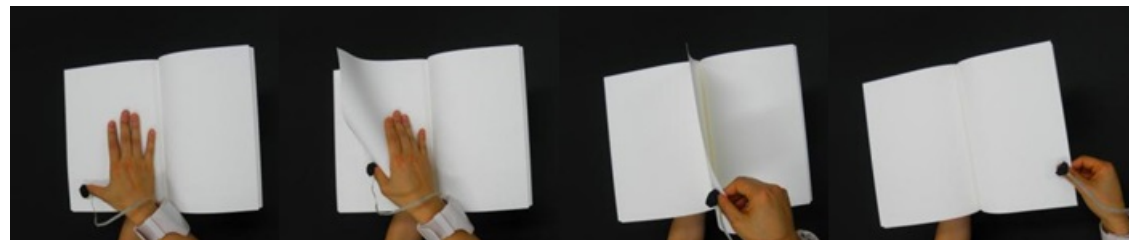
展示会ではエアラスのめくり易さや表面の手触りなど、新しい評価法を取り入れた展示を行った。



3軸加速度センサ



歪ゲージ



予め、指の力と歪の関係を校正し、ある動作をするときの歪を計測することで、そのときに指にかかる力を算出。

エアラス展示会

NaSFA

内容

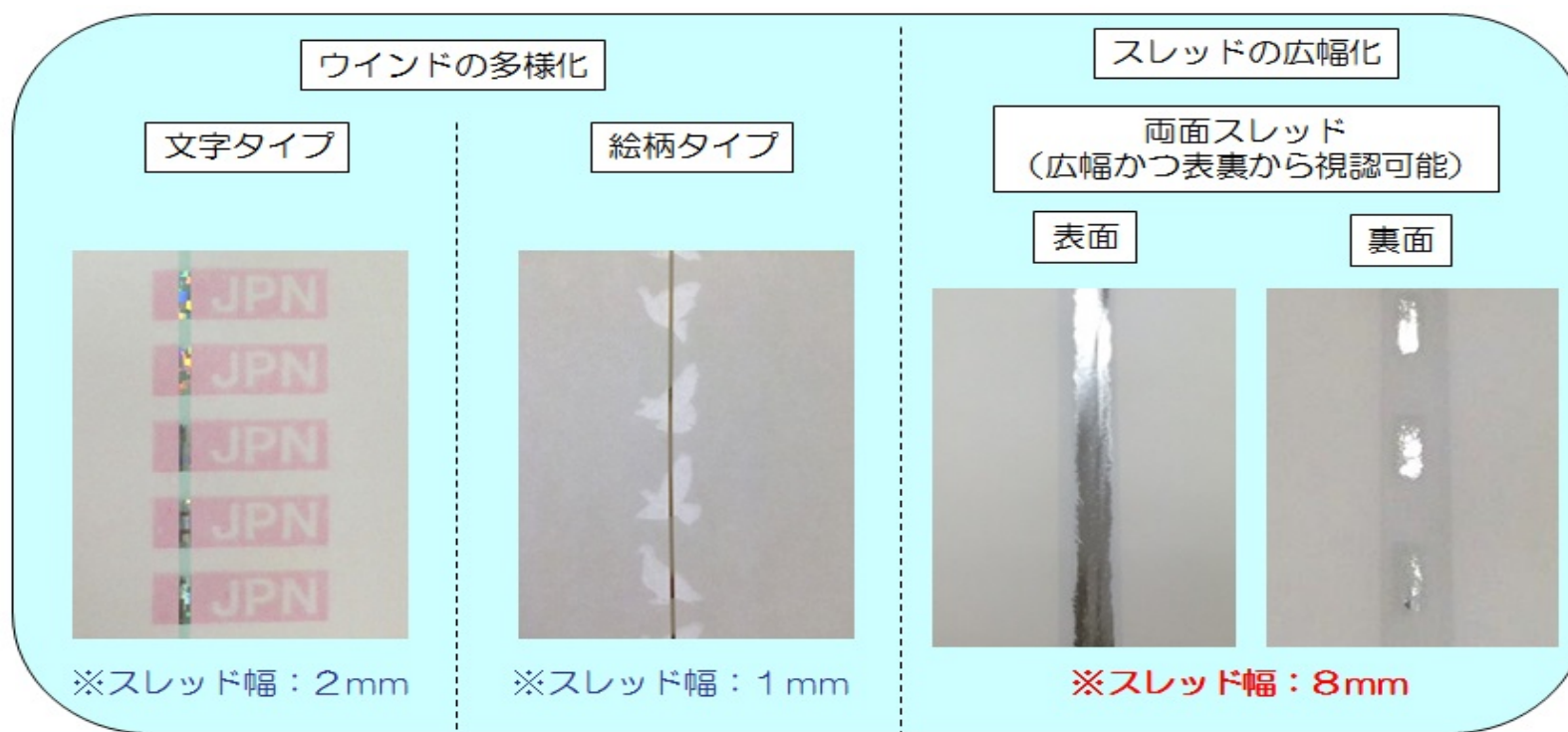
- 4月16日から18日にかけて虎ノ門ヒルズにて展示会を開催
- 来場者数 1,381人



商品券用紙需要の増加 (セキュリティー用紙)

内容

- 2014年度補正予算により地方自治体に総額2,500億円を助成することが決定
- 全国の自治体の97%が5月以降、「プレミアム付き商品券」を発行する。
- その結果、スレッドを抄き込んだ商品券用紙の需要が増加
- これにより約2.5億円の売上増を見込む。



スレッド抄き込み技術の進化(ウインドの多様化、スレッドの広幅化に挑戦)

TT-除染シート 実証モデル採用

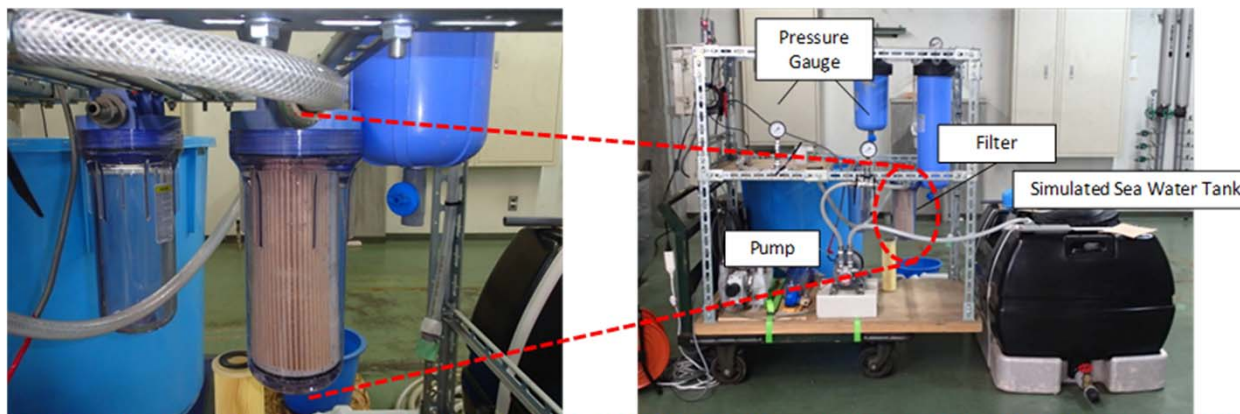
内容

NaSFA

- 放射能汚染地域の復興への貢献のため、放射性物質を吸着するシートを開発。
- 不織布間に特殊ゼオライトを挟み込んでいる。
- セシウムおよびストロンチウム除去率が95%以上。
- 縫製、プリーツなど用途に応じた形状に加工可能。

現在の状況

- (株)アトックスと共同開発したストロンチウム吸着フィルターを、資源エネルギー庁 平成25年度補正予算「廃炉・汚染水対策事業」の汚染水処理対策技術検証事業において適用性評価を行い、ストロンチウムに対する吸着効果を得た。
- 共存イオンの影響も少なく、原発港湾内海水浄化向けシートとして有効。
- 今期、来期の福島第一原発への導入を目指す。
- 目標売上金額 30億円(3年後)。



フィブリック (FIBLIC) の開発状況

(リチウムイオン二次電池用セパレータ)

内容

NaSFA

- リチウムイオン二次電池用セパレータ(絶縁体)の開発に成功、**ユーザー十数社を対象に試作品を提供中**
- 不織布系セパレータは微多孔フィルムに比べて抵抗が低く、高速充電適性に優れる。
- ただし既存不織布系セパレータではカーボン負極適性なし(デンドライト抑制できず)
- フィブリックは高速充電とデンドライト抑制のバランスに優れる。

現在の状況

- 強度アップとコストダウンにフォーカスして活動中
- 強度アップのために新たな構成を検討中

今後の展開

- 2020年モデル車載用LIB採用を目指す。



フィブリック 建屋

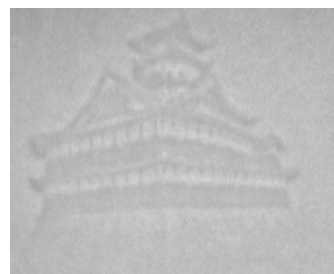
海外とオリンピックに向けて 更なるセキュリティー用紙の開発

NaSFA

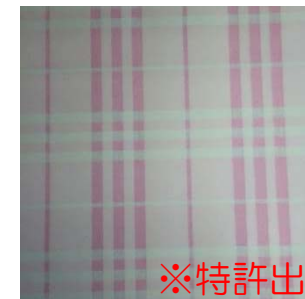
内容

- 偽造防止用紙における海外市場への参入
- 特に偽造防止用紙においてハイエンド品と呼ばれる分野での参入を図る。
- さらに**2020年東京オリンピック**においても黒すかし技術をはじめとして、当社の最新技術を取り入れた原紙を提供することを目指している。

黒透かし

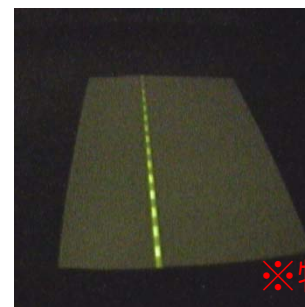


特殊透かし(マルチカラータイプ)



※特許出願済

応力発光シート



※特許出願済

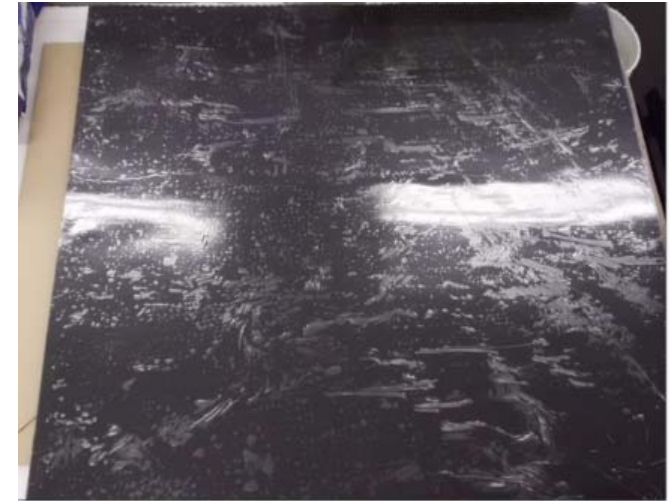
CNT技術の電磁波吸収シートへの応用

(CNT:カーボンナノチューブ)

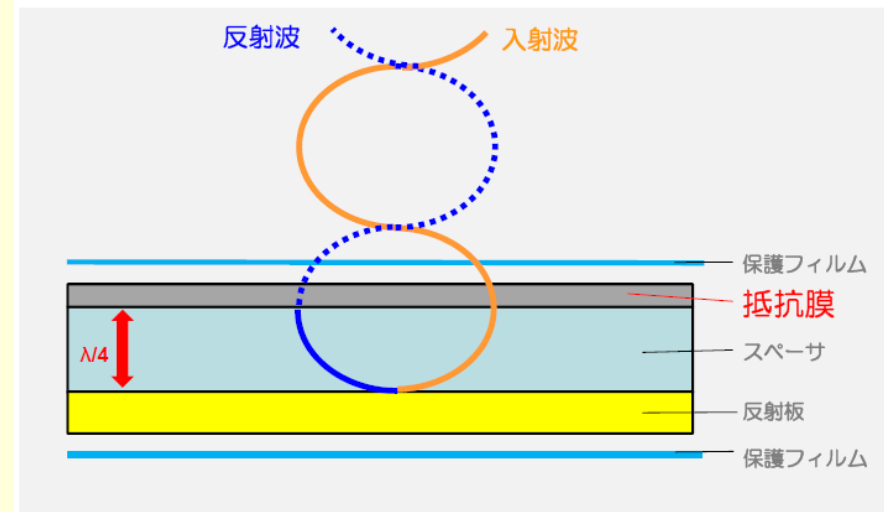
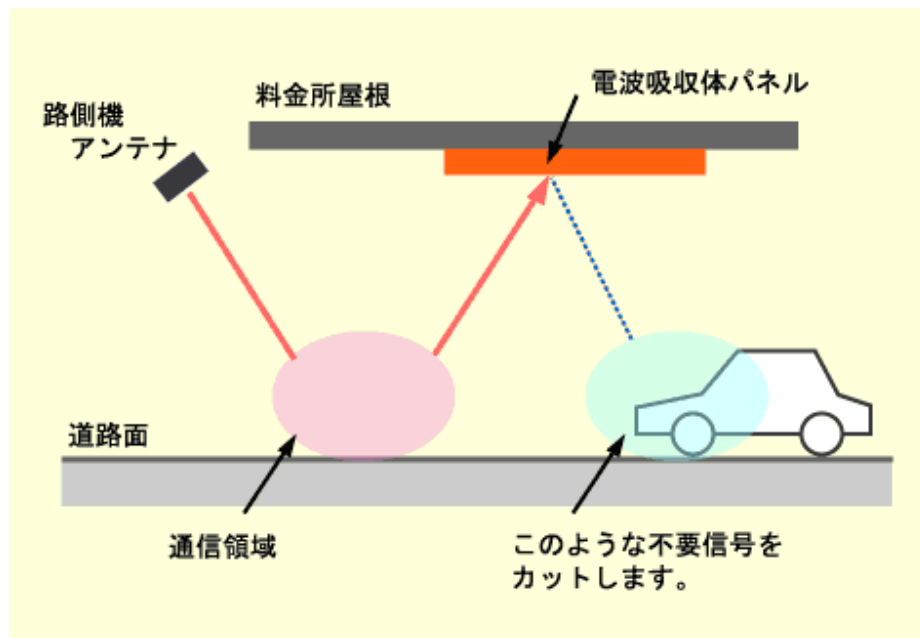
内容

- PETフィルムに特殊カーボンを塗工
- ETC信号の乱反射による重課金回避のための電波吸収体パネルに利用される。
- 他社品と異なり当社品は新開発技術により単純な構成で同等性能
- 他社品と比べ**軽量、薄層、安価**が3つのメリット実現
- 札幌のETCで採用済

NaSFA



当社製抵抗膜



D' CRAFTの販売状況

内容

NaSFA

- 産業素材事業Gの生産力と特殊素材事業Gの技術力を融合した商品
- 用途は包装紙、手提げ袋、メモパッド等の文具を想定
- クラフト紙をベースに、色・風合い・パターンを付与し従来のファンシーペーパーとは異なる、新規用途への展開を図る。

現在の状況

- テキスタイルシリーズの平織物をイメージした製品として「D' CRAFTクロス」を9月に上市した。



D'CRAFTクロス

意匠性トイレットペーパー／ペーパータオルの企画

内容

NaSFA

- 生活商品事業Gの生産力と特殊素材事業Gの技術力を融合した商品。
- トイレットペーパー／ペーパータオルに、意匠性のあるパターンを付与し、新しい風合いや視覚効果を狙い、新たな付加価値を与える。
- 新規技術で品質を高め、新たな市場を切り開く。



トイレットペーパー(イメージ)



ペーパータオル(イメージ)

中日特種紙 新規薄紙ファンシーの開発

内容

- tカラペに続く新規薄物FPの開発
- 中日特種紙の透かし技術を活用して意匠性を付与した包装用紙を開発する。

今後の展開

- 2015年下期 実機試作開始
- 2016年上市予定



画像はtカラペ



お問い合わせ先:財務・IR室

〒104-0028

**東京都中央区八重洲2-4-1
常和八重洲ビル**

Tel 03-3281-8581

Fax 03-3281-8591

本資料に掲載しております当社の計画および施策などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。